

目 次

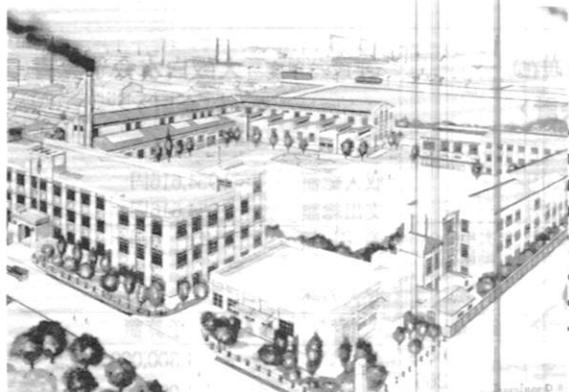
- (2) ……事業・会計報告
- (3) ……会長ご挨拶
- (4) ……退職・転任のご挨拶
- (6) ……各種だより
- (8) ……社会人1年生
- (10) ……体育祭・文化祭
- (12) ……部活動報告
- (14) ……東日本大震災
- (16) ……この人登場
- (18) ……先生お元気ですか
- (18) ……こんなかいどんなかい
- (20) ……訃報
- (22) ……会員だより
- (23) ……会費寄付納入一覧

# 白水会報

発行所

大阪市立泉尾工業高等学校内  
 大阪白水会  
 〒551-0031  
 大阪市大正区泉尾5-16-7  
 TEL 06-6552-2221代  
 FAX 06-6554-7612  
 振 替 00940-1-82966

発行人 田中 啓治  
 編集責任者 白戸 弘



創立6年目頃の校舎俯瞰図 1928年 (昭和3年) 頃制作

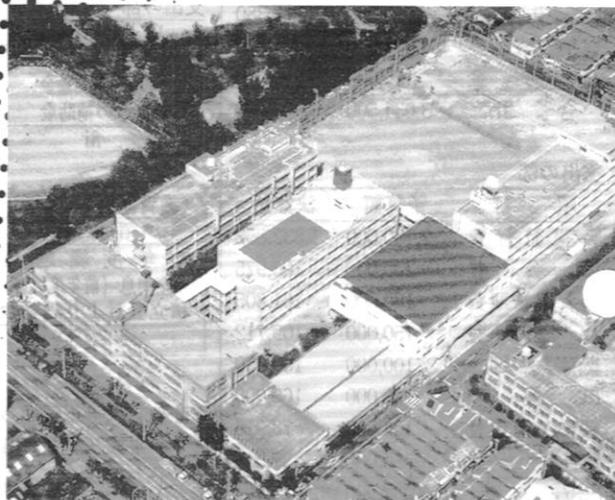


1962年 (昭和37年)

創立90周年にむけて



1968年 (昭和43年)



現在の泉尾工業高等学校

月日の流れは速いもので、母校大阪市立泉尾工業高等学校は、平成24年10月をもちまして創立90周年を迎えることになりました。

母校におきましては、今年度より90周年の記念行事・事業などの基本方針と組織分担の協議を始められ、準備にとりかかっております。

大阪白水会といたしましては、母校の新たな飛躍のきっかけとなることを祈念して、これらの諸行事、事業を物心両面でバックアップすることになりました。

そこで記念行事および事業の円滑な推進を支援するためにみなさま方に記念協賛募金へのご協力をお願いすることになりました。

クラス、クラブあるいは職場やグループなどそれぞれの部所での話し合いを持っていただき、できる限り幅広く多くの方々からのご支援がいただけますようお願いするところでございます。

どうか90年の年輪の栄光が泉尾工業高等学校にふさわしく、さらに年輪を大きく広げられますように、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

なお記念協賛募金の要旨は改めましてご案内申し上げます。

<p>平成23年度役員(敬称略)</p> <p>会長 田中 啓治 (E 41)</p> <p>副会長 檜尾 俊明 (S 32)</p> <p>小川 治 (D 30)</p> <p>谷口 猛 (C 38)</p> <p>尾上 一雄 (A 34)</p> <p>西山 瑞彦 (M 34)</p> <p>磨田 昭男 (S 40)</p> <p>山口 實 (E 41)</p> <p>白戸 弘 (A 58)</p> <p>常任理事長</p> <p>平成22年度事業報告 白水会を考える会 22年3月6日(土)</p> <p>役員・理事会 本校・第二会議室 22年6月4日(金)</p> <p>会報発行 於 鳥よし本店 22年7月1日(木)</p> <p>東京支部総会 22年7月3日(土)</p> <p>総会 於 スペース築地 22年7月24日(土)</p> <p>母校後援事業 卒業生を囲む会 (6月2日、26日)</p> <p>教育後援会を通じての財政援助 (10万円/年)</p> <p>常任理事会 随時</p> <p>平成23年度事業計画(案)</p> <p>白水会を考える会 23年3月5日(土)</p> <p>役員・理事会 本校・第二会議室 23年6月3日(金)</p> <p>会報発行 於 鳥よし本店 23年7月1日(金)</p> <p>白水会東京クラブ 23年7月2日(土)</p> <p>総会 23年7月23日(土)</p> <p>母校後援事業 卒業生を囲む会 (6月14日、30日)</p> <p>教育後援会を通じての財政援助 (10万円/年)</p> <p>常任理事会 随時</p>	<p>平成23年度 大阪白水会決算書 (平成23年3月31日現在)</p> <p>〈一般会計〉</p> <table border="1"> <tr><td>収入総額</td><td>3,007,420円</td></tr> <tr><td>支出総額</td><td>2,672,804円</td></tr> <tr><td>差引額</td><td>334,616円…次年度へ繰越</td></tr> </table> <p>収入の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>会費</td><td>1,300,000</td><td>1,345,540</td></tr> <tr><td>予納金</td><td>1,100,000</td><td>1,179,000</td></tr> <tr><td>広告料</td><td>180,000</td><td>178,380</td></tr> <tr><td>前年度繰越金</td><td>304,500</td><td>304,500</td></tr> <tr><td>補助金</td><td>150,000</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,034,500</td><td>3,007,420</td></tr> </table> <p>支出の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>予算額</th><th>決算額</th></tr> <tr><td>会報発行費</td><td>2,100,000</td><td>1,832,852</td></tr> <tr><td>総会費</td><td>200,000</td><td>196,975</td></tr> <tr><td>入生歓迎費</td><td>180,000</td><td>161,805</td></tr> <tr><td>会議費</td><td>150,000</td><td>109,712</td></tr> <tr><td>教育後援会分担金</td><td>100,000</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>出張費</td><td>120,000</td><td>160,000</td></tr> <tr><td>事務・通信費</td><td>104,500</td><td>73,915</td></tr> <tr><td>雑費</td><td>80,000</td><td>37,545</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,034,500</td><td>2,672,804</td></tr> </table>	収入総額	3,007,420円	支出総額	2,672,804円	差引額	334,616円…次年度へ繰越	項目	予算額	決算額	会費	1,300,000	1,345,540	予納金	1,100,000	1,179,000	広告料	180,000	178,380	前年度繰越金	304,500	304,500	補助金	150,000	0	合計	3,034,500	3,007,420	項目	予算額	決算額	会報発行費	2,100,000	1,832,852	総会費	200,000	196,975	入生歓迎費	180,000	161,805	会議費	150,000	109,712	教育後援会分担金	100,000	100,000	出張費	120,000	160,000	事務・通信費	104,500	73,915	雑費	80,000	37,545	合計	3,034,500	2,672,804
収入総額	3,007,420円																																																									
支出総額	2,672,804円																																																									
差引額	334,616円…次年度へ繰越																																																									
項目	予算額	決算額																																																								
会費	1,300,000	1,345,540																																																								
予納金	1,100,000	1,179,000																																																								
広告料	180,000	178,380																																																								
前年度繰越金	304,500	304,500																																																								
補助金	150,000	0																																																								
合計	3,034,500	3,007,420																																																								
項目	予算額	決算額																																																								
会報発行費	2,100,000	1,832,852																																																								
総会費	200,000	196,975																																																								
入生歓迎費	180,000	161,805																																																								
会議費	150,000	109,712																																																								
教育後援会分担金	100,000	100,000																																																								
出張費	120,000	160,000																																																								
事務・通信費	104,500	73,915																																																								
雑費	80,000	37,545																																																								
合計	3,034,500	2,672,804																																																								

<p>平成22年度 大阪白水会決算書 (平成23年3月31日現在)</p> <p>〈積立金会計〉</p> <table border="1"> <tr><td>収入総額</td><td>1,735,953円</td></tr> <tr><td>支出総額</td><td>1,021,409円</td></tr> <tr><td>差引額</td><td>714,544円…次年度へ繰越</td></tr> </table> <p>収入の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>金額</th></tr> <tr><td>前年度繰越金</td><td>1,735,687</td></tr> <tr><td>預金利息</td><td>266</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,735,953</td></tr> </table> <p>支出の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>金額</th></tr> <tr><td>教育基金返納金</td><td>1,021,409</td></tr> <tr><td>母校への部活動奨励金</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般会計への補助金</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>1,021,409</td></tr> </table> <p>〈教育基金〉</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>金額</th></tr> <tr><td>前年度繰越金</td><td>3,009,894</td></tr> <tr><td>預金利息(前年度実績)</td><td>予測利子 7,000</td></tr> <tr><td>積立会計より返納金</td><td>1,021,409</td></tr> <tr><td>残高</td><td>4,038,303</td></tr> </table> <p>監査の結果 正確であることを認めます 平成22年3月31日</p> <p>会計監査 山口 實 (印)</p> <p>会計監査 磨田 昭男 (印)</p>	収入総額	1,735,953円	支出総額	1,021,409円	差引額	714,544円…次年度へ繰越	項目	金額	前年度繰越金	1,735,687	預金利息	266	合計	1,735,953	項目	金額	教育基金返納金	1,021,409	母校への部活動奨励金	0	一般会計への補助金	0	合計	1,021,409	項目	金額	前年度繰越金	3,009,894	預金利息(前年度実績)	予測利子 7,000	積立会計より返納金	1,021,409	残高	4,038,303	<p>平成23年度 大阪白水会予算書</p> <p>〈一般会計〉</p> <table border="1"> <tr><td>収入総額</td><td>2,954,616円</td></tr> <tr><td>支出総額</td><td>2,954,616円</td></tr> <tr><td>差引額</td><td>0円</td></tr> </table> <p>収入の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>予算額</th></tr> <tr><td>会費</td><td>1,300,000</td></tr> <tr><td>予納金</td><td>1,000,000</td></tr> <tr><td>広告料</td><td>170,000</td></tr> <tr><td>前年度繰越金</td><td>334,616</td></tr> <tr><td>補助金</td><td>150,000</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,954,616</td></tr> </table> <p>支出の部</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>予算額</th></tr> <tr><td>会報発行費</td><td>2,200,000</td></tr> <tr><td>総会費</td><td>230,000</td></tr> <tr><td>新入会員歓迎費</td><td>160,000</td></tr> <tr><td>会議費</td><td>140,000</td></tr> <tr><td>教育後援会分担金</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>事務・通信費</td><td>100,000</td></tr> <tr><td>雑費</td><td>24,616</td></tr> <tr><td>出張費</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2,954,616</td></tr> </table>	収入総額	2,954,616円	支出総額	2,954,616円	差引額	0円	項目	予算額	会費	1,300,000	予納金	1,000,000	広告料	170,000	前年度繰越金	334,616	補助金	150,000	合計	2,954,616	項目	予算額	会報発行費	2,200,000	総会費	230,000	新入会員歓迎費	160,000	会議費	140,000	教育後援会分担金	100,000	事務・通信費	100,000	雑費	24,616	出張費	0	合計	2,954,616
収入総額	1,735,953円																																																																										
支出総額	1,021,409円																																																																										
差引額	714,544円…次年度へ繰越																																																																										
項目	金額																																																																										
前年度繰越金	1,735,687																																																																										
預金利息	266																																																																										
合計	1,735,953																																																																										
項目	金額																																																																										
教育基金返納金	1,021,409																																																																										
母校への部活動奨励金	0																																																																										
一般会計への補助金	0																																																																										
合計	1,021,409																																																																										
項目	金額																																																																										
前年度繰越金	3,009,894																																																																										
預金利息(前年度実績)	予測利子 7,000																																																																										
積立会計より返納金	1,021,409																																																																										
残高	4,038,303																																																																										
収入総額	2,954,616円																																																																										
支出総額	2,954,616円																																																																										
差引額	0円																																																																										
項目	予算額																																																																										
会費	1,300,000																																																																										
予納金	1,000,000																																																																										
広告料	170,000																																																																										
前年度繰越金	334,616																																																																										
補助金	150,000																																																																										
合計	2,954,616																																																																										
項目	予算額																																																																										
会報発行費	2,200,000																																																																										
総会費	230,000																																																																										
新入会員歓迎費	160,000																																																																										
会議費	140,000																																																																										
教育後援会分担金	100,000																																																																										
事務・通信費	100,000																																																																										
雑費	24,616																																																																										
出張費	0																																																																										
合計	2,954,616																																																																										

**ビンゴの賞品提供を!**

今年も7月23日(土)の総会のビンゴの賞品をご提供お願いします。総会・懇親会の盛り上げにご協力下さい。

事前に事務局へご連絡いただき、会場へご持参下さい。



平成23年度 新理事

岩佐 亜由美 (F科)	島袋 綾 (F科)	隅谷 美月 (F科)	細川 有香 (F科)	八木 笑歩 (C科)	八島晋一朗 (C科)	浅見 卓矢 (A科)	今岡 卓弥 (A科)	重本 祐 (A科)	藤田 恵太郎 (A科)	宇仁 堅太郎 (M科)	立切 貴也 (M科)	中島 涼介 (M科)	三木 篤信 (M科)	門脇 強 (E科)	嘉那 井雄至 (E科)
-------------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	-------------	-------------	------------	------------	------------	-----------	-------------

# ご挨拶

大阪白水会会長 E41 田中 啓治



始めまして、このたび白水会会長に就任いたしました。電気科41年卒業の田中啓治です。私が泉尾工業高校に入学い

たしましたのは、昭和38年4月電気科が出来た年です。戦前から有った旧校舎と校庭は、はさんで西の端に新しく建てた新校舎に電気科だけが入り、先生方も新任の先生が多く、まるで新設校の様でした。団塊の世代の真っ只中のため、就職難の中、先生方の努力で現在の会社に就職し、去年定

年退職し嘱託として働いております。

前会長の中村さんが白水会活動の活性化を進めるために「白水会を考える会」を充足され、それに参加しておりますが、今回会長に推薦されました。

来年10月、泉尾工業高校創立90周年を迎え記念事業を行います。記念事業の成功にむけて頑張ってくださいと思います。皆様方のご協力をお願いいたします。

# 若い会員の声を求めて

前大阪白水会会長 D37 中村 久住

2006年7月の平成17年度大阪白水会総会に於いて会長に選ばれました。

諸先輩と榎本元常任理事長のご指導のもと、何人の会員さんが現存して居られるのか、新しい若い会員さんがどうして居られるのか、元気に生活を送って居られるのか、掴めないまま2期4年が終わってしまいました。残念、毎年若い会員さんと話をしたいと思

いながら実行できずです。是非理事会や総会に来て近況を話して下さい。しかし4年間問題も無く無事会長職を全う出来ました事は、皆さまのご協力と理事の方々の応援のお陰と感謝致しています。大変有難う御座いました。私事ですが、昨年より大阪府山岳連盟の副会長に任命されました。「パーソナル委員会」と言う一般の方の安全登山や

技術の啓発にいそしんでいます。又先日古い手紙を整理致して

いただきました。泉工で一番好きだった楠先生（あだなは朱礼な名でしたが）からの年賀状が出てきました。一度お参りに寄せて頂こうと思つています。

大阪市生野区箕面1-10-10  
定願寺 楠正道 昭和54年元旦  
「新春所感 信心歡喜の称名は、  
私の呼び声 仏の声です。  
ああ 仏まします 証しです。  
南無阿弥陀仏 南無阿弥陀仏」  
(楠正成とゆかりのあるお寺の様です)



MASUDA

匠の技で、未来を築く

## 益田建設株式会社

代表取締役会長 益田 治 (昭和37年窯業科卒)

☎554-0013 大阪市此花区梅香2丁目2番17号  
TEL (06)6461-5212 FAX (06)6461-2420

### 会社概要

社名 株式会社日商機械  
設立 昭和44年10月  
資本金 8,800万円  
代表者 代表取締役 姫野 康通  
本社 大阪市浪速区木津川1丁目2番3号  
TEL 06-6568-3236 (代)  
FAX 06-6568-3237  
事業所 大阪・神奈川・千葉・埼玉・愛知・福岡  
従業員数 150名  
事業内容 1.土木建設機械のレンタルおよびリース  
2.物流機器、各種建設用工具のレンタルおよびリース  
3.測量機器および、家電、レジャー製品のレンタルおよびリース



# NISSHO

# 感銘を受ける

門野 利正



昭和四十五年から今春までの四十数年を大阪市立泉尾工業高等学校機械科（化学機械科）で勤務し、その間、生徒・保護者・卒業生・教職員の皆様には、大変お世話になりましたこと、先ず、お礼申しあげます。

さて、泉工での四十数年間を振り返ってみます。まず、その当時は化学機械科のスタートでした。職務に精励していましたが、不明な事が多く、度々、困難にも直面しました。色々な意味で勉強させてもらいました。

また、体育祭の応援練習や背景の製作を夜遅くまで生徒が取り組む様子を見て、一緒に過ごした事など、たくさん思い出が出来ました。今は、昔を懐かしく思うこのごろです。

来年は大阪白水会の九十周年式典を迎えます。

最後に大阪白水会の更なる発展と先生方のご健勝、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

# 今は昔

辻本 光司



長い間勤務してきたことになりす。

その採用された一年目、ある先生にこう言われました。

「君が私を利用し、出世、あるいは何かを得ようとするのなら、好きなだけ利用すればいい。私にそれだけの利用価値と器があることになるのだし、私は君に利用されているだけのつもりはないし、私も

皆さまお元気にお過ごしでしょうか。私は、本年4月に大阪市立都島第二工業高校に転勤になりました。

君を利用してもらう。勤務して右も左も何も解らない頃、そのようなことを言われどうすればいいのか悩みました。そんな話もそれ以外も今は昔。今は都島第二工業で努力するだけです。最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

# 泉尾工業高校と私

中野 学



私が初めて泉尾工業高校に足を踏み入れたのは、平成六年、期限付講師としてでした。当時、民間企業から教育の世界に飛び込んだ私にとっては、

ただき、計八十名の生徒を卒業させることができました。また、私事では結婚し二児の父となりました。十六年間、楽しいことも辛いこともありましたが自らの人生の中でも充実した日々を過ごすことができました。そして、教師として大切なことの多くを泉尾工業高校で学ばせていただいたと思っています。

正に戸惑いの連続でしたが、諸先輩の先生方に手取り足取り教えていただき、少しずつこの仕事にも慣れていきました。

今年度より東淀工業高等学校に転勤となり、新たな職場でも戸惑いながら日々を過ごしていますが、泉尾工業高校で学んだことを活かして今後とも励んでいく所存です。なので、白水会員の皆様におかれましては、またご縁がありましたらどうぞよろしくお願いたします。

翌年正式採用となつてから、以来十六年泉尾工業高校にお世話になってきました。その間に学級担任も3回させてい

いたします。

# 母校訪問の際は...

平成22年4月8日より正門のくくり戸が電磁ロック対応となりました。平日8時40分から15時10分までに母校を訪問されるときは、「来客用」インターホンを押して下さい。事務室が対応いたします。



# 泉尾工業高校との出会い

松原 恵子



私は、この泉尾工業高校に赴任になったのは8年前のことです。短大を卒業して、初

めでの職場だったので、とてもということがたくさんありました。ただ、とまどってはばかりもいれませんでした。

泉尾工業の保健室の来室者はただならぬものではなかつたからです。本当に毎日があつという間に過ぎて、8年が過ぎてしまった感じでした。だ

けど、学生から社会人への階段をこの泉尾工業高校でのほれたことは、私にとつてすごく意味のあるものでした。たくさん先生の出会い、たくさんさんの生徒に出会い成長することができました。

大変だと感じることはたくさんありすぎましたが、泉尾工業高校との出会いは、私のこれからの糧となります。

8年間、お世話になりました。本当にありがとうございます。

## ご苦労さまでした

平成23年4月1日

氏名	教科	等	転出先等
高寺博	工業化学	定年退職	本校再任用
門野利正	機械科	定年退職	本校再任用
友田紀子	庶務課	定年退職	市、事務センター
吉田雅裕	機械	都島工業	
中野学	工業化学	東淀工業	
磯谷享倫	機械	都島工業	
林弘人	数学	第二工芸	
梅垣穂高	保健体育	都島工業	
辻本光司	機械	都島第二工業	
井上宣哉	工業化学	都島工業	
吉岡正彦	工業化学	東淀工業	
井上大輔	保健体育	汎愛	
島田聖一	理科	中央	
山地祥正	事務	長	第二工芸
木村仁司	管理作業員	伝法	小学校
中辻秋信	管理作業員	野中	小学校
松原恵子	養護教諭	期限満了	
笹岡文	家庭	期限満了	府立吹田支援
中川正巳	電気	期限満了	
松尾佳奈	国語	期限満了	
大和倫子	ファッション工学	期限満了	奈良県立御所実業
井手加奈子	工業化学	期限満了	

## 卒業生の進路(概要)について

平成23年3月卒業生の進路状況は、就職56%、進学26%、その他18%となっております。

就職については、20年度の求人件数756、求人数838人、求人倍率5.6倍に対して、22年度の求人件数は350件、求人数は487人、求人倍率4.4と求人件数・求人数とも激減しました。1次での就職試験合格率は平成20年度は80%でしたが、22年度は50%（H22.9月末現在）を下回る落ち込みとなりました。

就職は、20年のリーマンショック以降の金融市場の危機による世界大不況・経済の低迷や石油の高騰などによって消費が冷え込み、生産計画の見直しにより雇用問題が生じ、マスクミ等で新規学卒者の就職内定率の落ち込みが報道されました。

本校においては、製造関係を中心とした企業から、なんとか内定を貰いましたが、女子の求人、特に、販売や事務系の求人が少なく一般公募のweb求人等にも応募しましたが、なかなか内定をいただけず、11月と1月に開催され

た合同求人説明会へも延べ60名を超える生徒が参加しました。しかし、就職希望者の内、かなりの生徒が就職先未決定のまま卒業して行く結果となりました。

進学については、推薦入試（指定校推薦）やAO入試等の充実で広き門となってきましたが、進学者数は50名で、昨年と同数ぐらいでやはり経済的な理由で進学を断念せざるを得なかった生徒もおり、進学率は横ばいです。

今年度からは、1次の内定率を上げる為に2・3年生で進路対策用の教材を購入し朝のホーム・ルームで基礎学力の向上に努めています。また、生徒の進路保障については、学年会と工業専門5科を中心に学校全体として取り組んで行きたいと思っています。

最後にあつかましいお願いですが、もし、卒業生の方や、卒業生のお知り合いで高卒求人を考えておられる方、企業がございましたらご一報頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

# ■ファッショング学科 だより

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。さて、今年度の1年生より募集人員が40名となり、ファッショング学科として1クラス体制でのスタートの年となりました。そのような状況に伴い、昨年度より教科指導ならびに生徒指導に尽力いただきました大和倫子先生が御所実業高等学校に転勤され、また昨年退職されました佐々木俊次先生が今年度は非常勤講師として指導していただいております。

授業内容につきましては、2年生からの「ファッショングリエイトコース」「カラーケリエイトコース」に分かれてのコース制の学習をなくし、全員が同じカリキュラムでの学習を行います。これまで繊維産業で求められていた生産技術などの専門教育に重点を置きつつ、ファッショング分野について幅広く学習を行っていましたが、今回の改編により、今後ファッショング分野で必要とされる知識・技術に関する

する授業内容に絞り込み、より専門的な学習を行うことにより、ファッショングの世界におけるクリエイターの育成を目指しています。そして、現在のファッショング産業、社会状況を考慮したうえで、今後社会で活躍できる確実なステップアップとして進学を重視し、服飾系大学・専門学校との連携の強化を図っていく考えです。

スタッフにつきましては、伊藤、松島(3年担当)、桑原、田中(2年担当)、西村(進路指導課)、池田(教務課)、星野(生活指導課)、大石、木原、白戸、野島、高井の12名にて新しいファッショング学科を創りあげていけるよう努力している所です。

また、様々なところで卒業生の皆様にご協力をお願いにあがることは存じますが、その節にはご協力のほど、よろしくお願いいたします。お時間があればお気軽にファッショング学科の方へお立ち寄り、お話を聞かせたいだけには幸いです。

# ■セラミック科 だより

今年の新入生は、男子17名、女子23名です。近年、入試の競争倍率が高く、多くの市民の皆様方に泉工をご支持いただき、引き締めております。新一年は試験的に6月に計算技術検定に取り組みしました。

入生には工業高校の授業に早く馴染んでもらえればと、本年度は試験的に6月に計算技術検定に取り組みしました。

二年生男子18名女子17名は引き続き岸が担任です。人なつこくて素直ですが、担任に甘えがちなのが気になります。三年生男子14名女子15名は、国語科の時光が担任、堀端が副担任を受け持ちます。少しドライで粘りが欲しいですが、明るさは泉工です。

科職員の藤岡、河村(科長)、三津井、前田もみな元気で。昨年度、榎本先生に週一度来て頂き、吹きガラス実習、コンクリート実習等の継承を行いました。これらは他県セラミック科設置校のなかでも泉尾独自のものです。実習が継続できて一安心です。

昨年の進路は製造業が10名、サービス業が2名、進学が1名でした。年末から年明けにかけて求人数が着々増える傾向が見られましたが、依然女子を中心に厳しい状況は続いています。他県と比べれば求人数はある程度充足していますので、三年生にはアルバイトでも何とかなると考えずに、正社員を目指し真剣に考えてくれることを期待しています。今年には震災の影響が関西経済にどのように出る心配の種は尽きませんが、卒業生の皆様にはどうあっても乗り切ってもらいます。

## 高橋 正一先生叙勲

泉尾工高第7代校長であられた高橋 正一先生が昨秋、「永年教職員としての功績が多大であった」として、叙勲(瑞宝小綬章)の栄に輝かれました。

高橋 正一先生は昭和38年から同42年まで本校教頭、そして昭和48年から同54年までは本校校長として校務運営の中心として、また実習棟の改築に力をそそがれました。

先生の叙勲にご祝辞を申し上げるとともに、今後とものご健勝をご祈念申し上げます。

 **ざわやかに風を創る**

**株式会社 大阪送風機製作所**

〒557-0062 大阪市西成区津守2丁目1-41  
TEL 大阪 (06) 6561-0701(代) TELEFAX (06) 6567-0701

社長 佐藤 征彦 (38M)

伊藤昌之 (49M)	菊池正樹 (57C)	谷 正弘 (57C)	坂部典信 (58M)
竹田安雄 (58M)	谷本晋吾 (平10M)	村林昌也 (平12M)	中津留守博 (平13M)
猪俣昇太 (平18M)	中島俊介 (平20M)		

●認定補聴器専門店●

**(株)ナニワ補聴器センター**

代表取締役 **山村 清治郎** (工化41年卒)

〒569-0814 高槻市富田町1丁目6-10  あり

「JR・阪急どちらでも富田駅歩2分」TEL072-692-6822

EX-ル: info@naniwa-hochoki.co.jp

# 工業化学科 だより

今年度ついに各学年1クラス体制となり、全学年の生徒総数も90人を切ってスタートをすることとなりました。そして今年も職員の間が異動がありました。

4人の先生が転出され、都島工業に井上宣哉先生、東淀工業に中野学先生と吉岡正彦の先生方も長年工業化学科のために尽力くださいました。

また、卒業生の井手加奈子先生も、新たな一歩を踏み出されるということでもわずか1年間ではありましたが工業化学科を離れることとなりました。大変ありがとうございました。それに伴い3人の先

生方が転入されました。東淀工業から辻本友宏先生と前川勇人先生、都島工業卒業生の

廣田夏輝先生において頂きました。よろしくお願ひします。

工業化学科では、バイオ・環境、物理化学・情報処理、合成、分析技術の4つの技術と技能を柱にして化学の基礎から応用まで幅広く指導しております。

入学してくる多様な生徒に対応するため、授業を見直し、内容を精選したカリキュラムを組み、職員一丸となって指導しております。一年生は特に基礎的事項から対応出来るように、教室授業は二人制で

指導しています。また、実習はひと班の人数を少なくし、よりきめの細かい指導を全学年で展開しています。

平成22年度卒業生は、厳しい就職戦線だったこともあり、残念ながら進路未決定のまま卒業していく生徒がいました。

今年度も大変厳しい就職状況が引き続き予想されています。が進路を決め、旅立つことが出来ますよう、求人並び、何かと今後とも尚一層のご協力をお願い致します。

最後に、泉尾化学会でお預かりしています会費で応援団用の太鼓(約37万円)を購入することとなりました。以上ご報告させて頂きます。

# 電気科 だより

卒業生の皆様、お元気で過ごして下さい。また、実習はひと班の人数を少なくし、よりきめの細かい指導を全学年で展開しています。

平成22年度卒業生は、厳しい就職戦線だったこともあり、残念ながら進路未決定のまま卒業していく生徒がいました。

今年度も大変厳しい就職状況が引き続き予想されています。が進路を決め、旅立つことが出来ますよう、求人並び、何かと今後とも尚一層のご協力をお願い致します。

# 機械科 だより

卒業生の皆様、お元気で過ごして下さい。また、実習はひと班の人数を少なくし、よりきめの細かい指導を全学年で展開しています。

平成22年度卒業生は、厳しい就職戦線だったこともあり、残念ながら進路未決定のまま卒業していく生徒がいました。

今年度も大変厳しい就職状況が引き続き予想されています。が進路を決め、旅立つことが出来ますよう、求人並び、何かと今後とも尚一層のご協力をお願い致します。

# 機械科 だより

卒業生の皆様、お元気で過ごして下さい。

新入生が1クラスになり2年目になります。

今年機械科では、門野利正先生が退職されました。引き続き今年度も再任用として勤務して頂いております。また、吉田雅裕先生・磯谷享倫先生が都島工業高校に辻本光司先生が都島第二工業高校(定時

制)に転動されました。新たに來られた先生は、都島第二工業高校より本校機械科の卒業生でもある稲地幸雄先生を迎え、非常勤で今年度も引き続き松本信一先生をお迎えしました。

この四月より安井正士先生(二年担任・普通科)、西野(二年担任・普通科)、田中利美先生(三年担任・普通科)、馬越(三年担任)

谷口(教務課)、関野(進路指導課)、西浦(生活指導課)、門野、太田、森、稲地、足立(機械科)というメンバーで

丸となり指導しております。また、「資格・検定」においても本年度も今まで同様に各検定の取得に力を入れております。

先日、春の校外学習では以前よく行った兵庫県の須磨海浜公園に行き応援団員を中心に背景係・スタンド係を紹介し機械科の一致団結を確認し

谷口(教務課)、関野(進路指導課)、西浦(生活指導課)、門野、太田、森、稲地、足立(機械科)というメンバーで丸となり指導しております。

また、「資格・検定」においても本年度も今まで同様に各検定の取得に力を入れております。

先日、春の校外学習では以前よく行った兵庫県の須磨海浜公園に行き応援団員を中心に背景係・スタンド係を紹介し機械科の一致団結を確認し

谷口(教務課)、関野(進路指導課)、西浦(生活指導課)、門野、太田、森、稲地、足立(機械科)というメンバーで丸となり指導しております。

また、「資格・検定」においても本年度も今まで同様に各検定の取得に力を入れております。

先日、春の校外学習では以前よく行った兵庫県の須磨海浜公園に行き応援団員を中心に背景係・スタンド係を紹介し機械科の一致団結を確認し

社会人一年生

# 新入会員から在校生へ

## 泉尾工業高校へ通う意味

F平23卒 丸山 温子



私は高校の頃、大阪に出てきて姉と二人暮らしをしながら

ら学校へ通っていました。泉尾工業高校にとっても魅力を感じ、通いたいと思ったからです。繊維の事を学んだり、布を染めたりする事は、他の学校ではそうそう出来ません。おかげ様で楽しい学校生活でしたし、普通高校の子が出来

ない様な一歩進んだ技術を身に付ける事が出来ました。そして、それは現在の私へと活かされています。

私は今、大阪芸術大学短期大学部へ通っていますが、そこでは高校で学び、得た知識に関連することが多くありました。特に版画と捺染の関係は、ジャンルこそ違いますが、やっけている事はとても似通っています。私が「捺染」を高校で学んだからこそ版画と比較できるのです。事前に知識を持っていくという事は、大学では強味になります。知

識をさらに深められることに繋がるからです。

そこで、私が皆さんに伝えておきたい事が、「自己管理を行う」ということです。大学では留年しないように、と優しく声をかけてくれる先生などいません。全てが自己責任なのです。自己管理を怠ってしまうと、知識を深めるどころかチャンスさえ逃してしまいかねません。ですから、高校生活は悔いの無いように、学べることは吸収し、そして程よく遊んで学校生活を満喫して下さい。

## 責任の重さ

C平23卒 永田 彩花



泉尾工業を卒業して、二ヶ月近く経ちました。現在、私はセラミック製品を製造・販売をする会社で働いています。私は、目視検査・包装・計測等の業務をするグループで仕

事をしていきます。働きはじめて一ヶ月経ちましたが、まだまだ仕事に慣れません。人間関係で辛い時もありますが、毎日色んなことを経験し、とても充実していると思います。働きだして感じたのは、「責任の重さ」です。学生の時とは間違ったり、失敗しても、謝れば済んでいたことが、社会人になった今、失敗した時には必ず自、責任になると

いうこと、自分の間違った行動のせいで周りの人に迷惑をかけてしまうということに気がきました。「責任」というものの重さを感じました。仕事に関しては、まだ覚えることが多いです。わからないこともたくさんあります。これから少しずつ仕事を覚えながら、職場の人とのコミュニケーションを大切にして、早く信頼される会社の一員になれるように、セラミック科で勉強したことを生かして、頑張っていこうと思います。最後に在校生の皆さん、私

は、高校生活を「しんどいなあ」と思いながら、毎日を過ごしていました。今考えれば、どうしてももっと充実した毎日を送らなかつたのかと後悔しています。できるなら、高校生活をやり直したいと思うほどです。だから、皆さんには今の高校生活を大切に過ごして欲しいです。卒業して働きだしたら、もう皆で授業を受けることも、運動場で遊ぶことも二度とありません。本当に、あつという間の三年間なので悔いの残らないように、毎日、しく過して下さい。

☆ナイス製品☆  
 マーガリン・ショートニング  
 ラード・フライングオイル  
 製造・販売

**植田製油株式会社**  
 〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町17番地  
 TEL (078) 451-2361 FAX (078) 412-0991

染料・顔料・工業薬品

**平岡染料店**  
 平岡利隆 (D31卒)

☎543-0044 大阪市天王寺区国分町18-11  
 TEL (06) 6771-7426  
 FAX (06) 6779-7794

# 社会人になって



A平23卒 田邊 成美

私は今、(社) 日本貨物検数協会という所で研修を受けています。まだ働きはじめて一ヶ月あまりで、慣れない事がたくさんあります。私の職場は船やトラックから運ばれて

来た貨物の個数や荷姿を確認したりします。今はその勉強を一生懸命に取り組んでいます。私はまだ研修中ですが、社会人になって学生の時との違いは責任の重さと挨拶の大切さに気付きました。

学生の時は失敗しても先生や親が助けてくれたり、謝ったら許してもらえたりしましたが、社会人になったらそう

はいきません。失敗のないよう細心の注意をし、自分の責任の元に真面目に取り組んでいかなければなりません。

そして挨拶は必ずしなければなりません。挨拶はただすれば良いのではなく相手に不快感を与えないように大きな声で元気よく笑顔でしなければなりません。

挨拶をする事で同じ職場の人ともコミュニケーションを取ることできますし、元氣よく笑顔で挨拶することで相手にも良い印象を持たせるこ

とができます。

なので学校でも自分から積極的に挨拶してみてください。

最後に学校生活を充分に楽しんでください。社会人になつたら学生とは違い自由もきかなくなりません。そのためにも、学生の時にたくさん良い思い出を作ってください。

もちろん勉強もあきらめずがんばってください。将来やうって良かったと思える日が来ます。あつという間なので悔いのないように高校生活を送ってください。

# 挨拶する習慣



M平23卒 新稲 隆

自分が社会人になってもう一ヶ月がたちました。まだまだ慣れない事ばかりで、右も左もわからないですが自分なりに頑張っています。

今取り組んでいる事といっても勉強ばかりで、作業とい

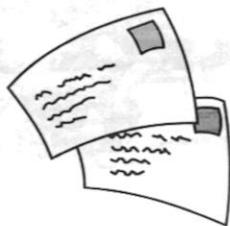
う作業は全くしていません。社会人になれば勉強しなくていいと思っていましたが、社会人になってからも勉強ばかりで、高校生の時よりも厳しく指導されたりします。

特に挨拶については一番厳しく指導されます。自分が社会人になって一番初めにした事も挨拶からでした。それだけ社会人になると挨拶には厳しくなるので朝、学校に登校してきた時に一言でもいいので挨拶をする習慣をつけてい

れば、社会人になって自分が得をすると思うので最初は小さい声で挨拶していても慣れてくれば大きな声も出ると思うので少しずついいので挨拶をする習慣をつけてほしいと思います。

自分も朝、挨拶をする習慣がついていなかったのが社会人になってすごく苦労しました。高校生の時にそのような習慣をつけておけば良かったと今でも思います。

これから就職や進学が近づいてきて、勉強ばかりに集中すると思いますが挨拶も忘れずにしてほしいと思います。勉強がでなくても元気やし



環境装置(上、下水処理機械)の設計、製作

ISO9001:2000認証取得

## 間機設工業株式会社

URL: <http://www.hazamakisetsu.com> E-mail: [info@hazamakisetsu.com](mailto:info@hazamakisetsu.com)

間 文 彦 (M37卒)

本社工場 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5-11-22  
TEL 06-6471-5767 FAX 06-6471-5311  
岡山工場 〒701-2226 岡山県赤松市由津里2007番地  
TEL 08695-7-3481 FAX 08695-7-3471  
岡山東工場 〒701-2222 岡山県赤松市町苅田1324  
TEL 08695-7-3488

### 母校のホームページを見て下さい。

ご存じの方も多々ありますが、母校のホームページの内容が更新されており、学校案内だけでなく、各科の紹介や体育祭、文化祭の内容などもその都度新しくなっております。

「泉尾工業高校」で検索するだけで、母校の近況が分かります。皆様からのアクセスをお待ちしております。また、ご意見、ご感想などもお寄せ下さい。

(<http://www.ocec.ne.jp/ns/izuo/index.html>)

平成23年度 体育祭 成績一覧表

		1位	2位	3位
総合成績		工業化学科	機械科	電気科
学年成績	1年	工業化学科	機械科	電気科
	2年	機械科	工業化学科	電気科
	3年	機械科1組	工業化学科	セラミック科

応援	感動賞	熱血賞	チームワーク賞	行進賞
	ファッション工学科	機械科	電気科	
背景	感動賞	技能賞	創造賞	機械科
	ファッション工学科	機械科	セラミック科	

ハリケーンリレー		機械科	工業化学科	電気科
4 ノ リ ー	1年	ファッション工学科	機械科	工業化学科
	2年	ファッション工学科1組	セラミック科	工業化学科
	3年	ファッション工学科1組	セラミック科	機械科1組
綱引き		工業化学科	セラミック科	機械科
む か で	1年	工業化学科	ファッション工学科	セラミック科
	2年	機械科	セラミック科	工業化学科
	3年	電気科	機械科1組	セラミック科
対科リレー		工業化学科	ファッション工学科	機械科

# 第89回 泉工 体育祭

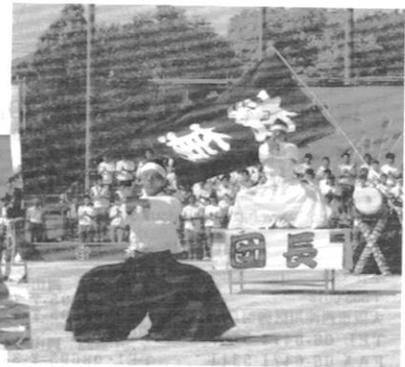
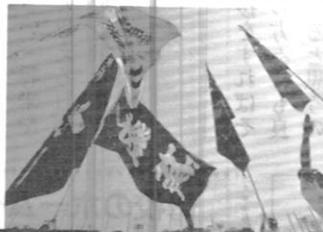
平成23年5月19日 (木) に開催されました。

テーマは

「奇跡あり 闘志を

魅せろ 五月雨に」

と、5科のシンボルカラーを文字に表現してみました。五月晴れの好天気にも恵まれ各科、一致団結、元気一杯の一日でした。



# 文化祭 第88回 泉工

平成22年11月12日（金）に開催されました。創立88周年を迎える文化祭のテーマは、「秋の交流戦だ!! 魅せます!! 華麗なる泉工文化祭」でした。展示、模擬店、と各クラス趣向を凝らし、特にステージの部では、映像を用いたクラブ、クラスの取り組みが多く見られ、その効果が大きかったと思います。



## 第88回 文化祭 結果発表

生徒の皆さん、文化祭お疲れ様でした。

### 展示の部

感動賞	1A	爪楊枝の秘
技術賞	1C	実習作品の展示
	陶芸部	作品展示
努力賞	2E	ダルマ13
	1M	ペーパースイッチアート
	美術部	作品展示
共感賞	2A	ダンボールの世界
	1E	平城遷都1300年祭! 大ちゃん
	テキスタイル部	作品展示

### ステージの部

感動賞	3F2	Sexy and the city
	映画研究部	情熱大陸
技能賞	軽音楽部	軽音楽部ライブ
	有志	D5-ADDICT
努力賞	2M1	魔法と現実の平行世界
	1F1	G・A・P

### ポスターコンクールの部

優秀賞	3F2	IKC28
	有志	D5-ADDICT
感動賞	映画研究部	情熱大陸
	1A	爪楊枝の秘
	陶芸部	陶芸作品展示



# 運動部の活動

## 硬式野球部

今年4月1日より硬式野球部の監督として就任しました西浦敏彦と申します。現在1年生11名、2年生3名、3年生6名、女子マネージャー1名、泉尾工業高校卒業の白戸弘先生を部長に毎日元気に活動しております。現在の所最近では大会の方の成績はそんなに結果としては残っておりませんが、毎日、毎日生徒は練習の方に精一杯努力を重ねており、主将を中心にチームワークも出来これから先が楽しみですだと感じしております。今後、いろいろな方々に喜んでいただける様に頑張りますので、御協力の程、宜しくお願いいたします。

## 柔道部

卒業生のみなさん、こんにちは。昨年度の柔道部は、インターハイ大阪府予選60kg級第3位、大阪総体60kg級準優勝、同じく66kg級準優勝、団体予選60kg級準優勝、全日本ジュニア大阪府予選55kg級準優勝、近畿ジュニアベスト8

といった内容でした。忙しい仕事の合間に練習に駆けつけていただき、大変感謝しています。今後ともよろしくお願ひします。

## 軟式野球部

現在、軟式野球部は3年生1人、2年生14人、1年生3人に、マネージャー1人います。昨年は、市立大会で第三位になりました。冬場に走り込みと振り込みを続けた結果として、春季工業大会一回戦を勝ちました。これからも数多く練習試合をする予定になっています。

5月に龍谷大平安高校・東山高校と6月には比叡山高校・天理高校と和歌山遠征を予定しています。7月は大会前に愛知遠征を予定しています。各地域の強豪校と練習試合をさせていただき、夏の全国大会にぜひ出場できるようにがんばります。応援お願いします。

## バトミントン部

この春に六名の部員が卒業し、現在は3年生一名、一年生三名で活動しています。新入部員の三名は初心者男子ですが、シャトルを打つ楽しさを知り、熱心に練習に取り組んでいます。

男子部員の入部で、今年度も市立大会の団体戦に出場し、上位入賞を目指します。どうか今後とも、諸先輩方のご指導、ご声援をよろしくお願ひ致します。

## ラグビー部

平素はラグビー部の活動に何かとご支援いただきありがとうございます。

少ない人数ながら、平日は泉尾高校と合同練習を行い、週末は、旭高校を中心とする合同チームで活動しています。その中で本校3年生の生徒が、15人に満たない学校からセレクトされ大阪選抜として近畿交流大会に参加しました。そこからさらに近畿選抜にセレクトされると夏に菅平で行われる全国大会に参加することができます。

## 野外活動部

僕は昨年九月に入部しました。入部してすぐに中山に登りました。最初は山道でしたが、途中からロッククライミングのようなどころを登りました。初めての経験でしたが楽しかったです。十月には市立大会に参加しました。場所は二上山

でしたが、一人欠席してしまいい二位になったのですがオーブン参加扱いで三位になってしまいました。春休み甲山で飯盒炊さんをしました。カレーを作った食べました。おいしかったです。今後夏のキャンプや釣りなどもしたいです。

## 女子バスケットボール部

最近徐々に暑くなってきましたが、卒業生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか？私達女子バスケットボール部は三人の新入生が入り、ようやくブレイヤーが五人となりました。

週に4日も体育館を使わせていただき部室ももらいました。さらに休日も練習しています。

顧問の先生をはじめとして様々な先生方からの後押しも受けて、ようやく部に昇格したばかりです。まだまだ未熟すぎる私達ですが、さらなる成長を目指してこれからも練習していきます。

# 文化部の活動

## テキスタイル部

創部6年目を迎えました。OB、OG、の皆さん、お元気ですか？昨年は恒例の大阪産業教育フェア参加に加えて、「大阪あきない祭2010」という、大阪の商店街が総力をあげて開催する一大イベントに参加させて頂きました。高校生による物品販売という部門で、日頃作った、巾着の袋物や、染め手拭いや、Tシャツ、アクセサリー等、数多くの物品に好評を得ることが出来ました。イベントに来られたお客様の中に、泉工を卒業した先輩の方々が数人がおられて、温かく声をかけてくださいました。色々な経験をす

## 23年度の主な学校行事(予定)

- 9月30日(金) 球技大会
- 11月10・11日(木・金) 文化祭
- 1月20日(金) 耐寒歩行
- 3月2日(金) 卒業式



ることにより成長出きると思  
いますので、これからも頑張  
って行きます。

### 自動車部

昨年、我が自動車部はソー  
ラーカーとエコデンカーを製  
作し、それぞれのレースに参  
加しました。

ソーラーカーのレースは8  
月に鈴鹿サーキットで行われ  
るDream Cupソーラー  
カーレース鈴鹿2010にで  
す。一昨年は惜しくも途中で  
止まってしまいました。昨年  
は何とか完走することができ  
ました。

エコデンカーのレースは11  
月に万博記念公園で行われた  
10エコデンレースでした。昨  
年はバッテリー部門だけでな  
く、乾電池部門とで、合計3台  
のエントリーを果たしました。



今後  
は上位  
入賞に  
努めて  
まいり  
たいと  
思っ  
ており  
ます。

### 陶芸部

今年三月に部員三名が卒業  
し、現在三年生二名、新入部  
員を心待ちにしています。

部員人数は少ないですが、  
今年度の泉工文化祭や大阪市  
立芸術祭も盛り上げていける  
ように、作品づくりにも励み  
ます。

卒業生のみなさん、いかが  
お過ごしですか。市立芸術祭  
(平成二十四年一月中旬予定)  
には足を運んでいただき、十代  
のエネルギーが伝わる作品の  
数々をぜひご覧下さい。

### 美術部

新学期がスタートしました  
が、現在の部員数は4名で全  
員3年です。今年第一の目標  
はまず部員を増員する事です。

新入部員の加入により元気の  
ある部として今年も例年のよ  
うに活動したいと思っています  
す。昨年は文化祭でベニヤパ  
ネル5枚の共同制作を、私の  
ヨーロッパのテーマで描き  
ました。皆よく頑張つて生徒  
会より「努力賞」を頂きました  
。また大正警察や大阪市消  
防局の依頼によりポスターを  
制作して社会的な活動にも部  
として積極的に協力していま  
す。今年も部員が仲良く活動  
に取り組み、より多くの成果  
が上がるよう努力いたします。

### 吹奏楽部

12月に3年生が卒業し、新  
2年生二人、新3年生一人の  
合計3人で活動をしていまし  
た。新年度になり、1年生8  
名が加わり11名となり少し部  
員が増えて、今は大変楽しく  
活動をしています。昨年度校  
外での活動は、3000人の

吹奏楽、市立高校芸術祭では  
4校合同(泉尾工・鶴商・咲  
くやこのはな、西高校、大正  
区区民祭り、第5回フレンド  
シップコンサートでは、4校  
合同(泉尾工業・淀商業・咲  
くやこの花・鶴見商業)で演  
奏会を行いました。

また、夏には大阪府吹奏楽  
コンクールに出場し、北地区  
大会小編成の部で奨励賞とき



らめを頂きました。1月  
には、昨年インフルエンザの  
為中止となった老人ホーム大  
正園において、OB・OGの  
方々のご協力で、無事に交流  
演奏会を行うことが出来まし  
た。

校内の活動では、人数が少  
なかった為、顧問の先生方  
にお手伝いを頂き、大変楽し  
く演奏することが出来ました。  
昨年度も少人数でしたが、活  
発に活動することができた  
のは、OB・OGの方々からた  
くさんのご支援、応援の声を  
頂いているからだと部員全員  
が大変感謝をしています。今  
年はずっと盛んになるように  
頑張ります。今後とも、応援  
をよろしくお願い致します。

映画研究部  
昨年、現三年生女子五名の  
入部によって廃部の危機から  
救われた映画研究部は、現在、  
さらに新入部員を待ち望んで  
います。

五名の部員は皆、明るく活  
発で、感性も個性も豊かで、  
ひとりひとりがクラブにとつ  
て重要な役割を担っており、  
頼りがいのある存在です。  
活動は一週間に一度の映画  
鑑賞会が主で、文化祭や卒業  
生を送る会、新入生歓迎会な  
どの行事で、編集した自主製

作映像を上映披露する事もあ  
ります。そのために校外ロケ  
に出かけては、撮影のおもし  
ろさを体感しています。

### 漫画研究部

現在部員は、三年生が女子  
一人、二年生が男子三人、女  
子二人の計六人です。三人は  
兼部していてそれぞれに忙し  
く、なかなか集まって活動で  
きていない状態です。それ  
も、それぞれに描いた作品を  
毎年文化祭で展示しています。  
文化祭へお越しの際は是非ご  
覧ください。

### 軽音楽部

昨年末、軽音楽部は諸事情  
により活動停止となつてしま  
いました。しかし、部員らは  
朝に校門にて挨拶を行ったり、  
清掃活動を行ったり、もちろ  
ん学業にも力を入れ、この春、  
無事に活動再開することがで  
きました。今はいっそうクラ  
ブ員であるという意識を高め、  
日々の勉強、練習に取り組ん  
でいます。新入生も続々と見  
学、入部に来ており、さらな  
る活躍が期待できることでし  
ょう。今後も様々なイベント  
に参加し、一生懸命な音楽を  
みなさまに届けることができ  
れば幸いです。

# 一筆啓上



未曾有の大震災に見舞われた。神戸淡路大震災から僅か一六年後の天災である。地球規模でいうなら一六年の間隔は連続して起こっていると考えべき」と識者は言う。

嘗て、小松左京の「日本列島沈没(上下)」がベストセラーになった。映画化もされ、本校でも全校賛賞したことがあった。そのときの生徒の感想文の多くは「あり得ない」とか「30メートル超の津波など考えられない」など否定的な文章が綴られていた。

## 東日本大震災——卒業生の安否——濱中 富三

「退避方法を今から考えるべきだ」とか、家屋・公共建築物の耐震化や防潮堤の築造をはかる必要がある」と真顔で訴えていた。

当時、尻無川や木津川に10メートルの可動堰が作られつつあったから、彼らはそれらを横目に見て自らを納得させていたようだ。

今回の大震災は将に「日本列島沈没」を地で行くような大災害になってしまった。しかし、大いに違うところは、原作には原子力発電所被災は書かれていなかった点だ。

福島県に隣接している、宮

城県山元町は福島第一原電の北30数kmにある。その地に40A陶芸家・木下峰雄君が住んでいる。彼は里山復活活動や地元FMラジオにゲスト出演するなど宮城の有名な人で、地域でも指導的立場にいる。

震災当日、所用で車で外出中、激震に遭遇し道路の損壊が激しく、迂回路を辿りたり、かろうじて自宅にたどり着いたが、家は全壊状態で手の施しようもない。カーラジオは大津波警報を繰り返していたので、すぐ避難を決意し車に戻つたら、向かいの奥様が自宅前のがらくたを片づけ

災状態が知らされ、支援策を考えられている。今、かれは細君(国立病院勤務)の転勤に伴い、仙台市のマンションに仮住まいしている。

東京も震度5強の激震に見舞われたが、大阪白水会東京支部前支部長・40A山本俊司君からの連絡によれば、支部員全員無事であるという。また、千葉県袖ヶ浦市在住の49A高橋めぐみ(旧姓島袋)さん一家も無事であると本人からのメールで確認している。

このほか、45A中本誠君(同山本末子さん(旧姓林))が難を免れたと同級生の豊島良

中だった。すぐ車に乗せ高台に避難したそうだ。その5分後に町は津波に飲み込まれたという。将に間髪を難を免れたわけだ。

当日、TVで大震災発生を知り、すぐ、PCや携帯で安否を確認するメールを送つたが、すべて梨の礫であった。やっと、3日目に彼の同級生・

高島幸三君から、続いて能勢勇君からそれぞれ連絡がその後、彼の無事を確認した。その後、通信回線が回復し彼の被災状態が克明に判明してきた。

高島君をキーステーションにしてクラ

次君から連絡が入りホッとしている。また、岩手県のシオノギ製薬株式会社金ヶ崎工場には、多くの卒業生が勤務しているが、本社並びに41A林芳信君に確認したところ、内陸部故に津波の被害はなく、従業員一同無事だと言った。そのほか、関東、東北に勤務・在住する卒業生が多かろうと思うが、安否は確認されていないもの、被災の報は知らされてくれないから安心している。亡くなられた方々のご冥福と安否不明の方々の消息が一刻も早く詳細に判明することを心から祈り、被災された

### 東北大地震と福島原発について

M18 西島 弘明

2011. 3. 11. 東北大地震M9発生。その直後10m越す大津波来襲。沿岸部、福島原発を含め大被害発生、自然現象とは云え福島原発の被害は放射能の拡散を含め周辺地区に想像を絶する被害を興えた。

重要施設の福島原発については、日本のトップ企業東電より、安全重視十分の構造であり安全神話までケンテンされていたにも拘らず。

津波の被害については筆者も経験はなく全く知らないが、S21年発生の南海地震に徳島県見能林村で遭遇、高さ2mの津波発生。海中防潮堤が横倒しとなり破壊力に一驚。

かつて青森県大間岬町にゴミ焼却施設建設の際、町長より地震と津波の多発地帯のため近くの山を中腹までカット、残土は隣の山との間に埋立て方々に衷心よりお見舞いを申し上げる。大変な毎日だろうと思うが心を折らず、復興に向くとも励まされるよう心から願っている。

元A科、第十一代校長

平地造成、予定外の費用発生するも将来を見越した卓見に賛同。地盤堅牢、地耐力もOKで建設。今回の地震にも被害軽少操業に被害なし。又明石海峡大橋も建設過程でM8の地震にバツタリ、倒壊かと観念するも異状なしとのこと、地震後改めて計測すれば明石側基礎が1m日本海側にズレ、スパン3900mが3901mと。もう少し大きくズレておれば完全に倒壊。神の試練とは云え!! 製作過程にはいろいろの試練あり。

福島原発、我々部外者にとっても疑問ばかりが目につく。先づ軟弱地盤の海岸線に海上10mの高さで建設計画。トップ企業の東電の申請について許認可権限のある官庁がOKとダブルミスのケースと考えられ、今回の神の試練で放射能拡散に至る。そして東電側は想定外との説明で完。今後必要不可欠の原発、我々部外者でも納得出来る安全十分でなく十二分の建設と操業を期待する。

桃栗3年 柿8年 ダルマ9年 (達磨大師面壁9年) 俺は一生涯

# 平成22年度白水会総会



が、今年はその中で、10名以上のグループ参加をして頂いた団体になり、特典として割り引き制をとってみることにいたしました。結果3グループより事前通知をいただきました。曜日、時間帯等の変更でどうなるのかと大きな不安を抱えての総会でありましたが、予定しておりました70席を30席以上も急遽追加しなければならぬという、うれしい期待外れとなりました。そのため開宴が20分も遅れてしまうことになり、皆様方には大変ご迷惑をかけてしまいました。なにとぞご容赦くださいませ。

さて、総会の内容といたしましては、A45年卒業の豊島良次さんの楽器生演奏があり、

22年度総会は例年のごとく、大阪心斎橋大成閣で行われました。ただ昨年までと大きく異なった点は土曜日の午後2時開会となったことです。

これまで週末金曜日の夕刻6時半開会で行われていたものを何とか、より多くの参加をいただくために、と初めての試みとさせて頂きました。

もう一つの試みとして、毎年3学年ほど特別に呼びかけをさせて頂いております



スタッフ一同

ペンゴゲームを行ったり宴もたけなわ、旧制校歌に引き続き、現母校校歌を全員で合唱し、大いに盛り上がりました。また、今年も例年になく20名近くの女性卒業生が参加され、華やかさも増して盛会のうち総会を終わることができました。

今後も「白水会を考える会」を通して、「創意工夫」をこらした総会が開催出来ますよう、皆様のご協力をお願いし、22年度総会の報告とさせて頂きます。

平成22年7月26日



## 勲章受章について

昭和二十年化学機械科卒 玉村 謙太郎

昨年「秋の叙勲」に際して、思いも掛けず、瑞宝中綬の表章を頂きました。白水会の会報編集者から、表題に関して一文を寄せるように要請がありましたので、お送り頂いたスキームに沿って、私自身の履歴等を述べてさせて頂き責めを果たしたいと思っております。(時代背景理解の助けに一部冗長な表記のあること、お許し下さい。)

①昭和20年3月大阪市立

泉尾工業学校5年生卒業

②同年6月文部省科学研究所補助技術員 大阪帝国大学養成所卒業

③昭和22年3月まで同研究所に勤務

④昭和25年大阪工専卒(国立)、同28年大阪大学工学部学士試験合格

⑤汽車製造株式会社(当時)に於て昭和30年10月まで車輪転削盤の設計製作に従事、そのカッターは、手計算による数値制御加工の嚆矢となる。



以上

⑥昭和30年、平成3年大阪市立大学工学部、大学院に於て機械工作の分野担当。研究は、主に切削ふん囲気に関連して、その作用機構、仕上面および工具摩耗に関係するもので、中でも噴霧中切削、真空中切削は先駆的なものである。

⑦平成5年、10年近畿大学生物理工学部教授。この間多くの方に御指導御協力を頂き感謝申し上げます。次第です。

現在

大阪市立大学名誉教授  
日本機械学会永年会員  
精密工学会名誉会員

# この人登場 ①

バンクーバーからの便り  
世界に飛翔する打揚 猛氏

紹介 M41 山野 彰

武道雑誌として世界的に最も権威のある「Masters Magazine」のカーペーを飾るのはバンクーバー在住・昭和41年化学機械科卒の打揚 猛氏。

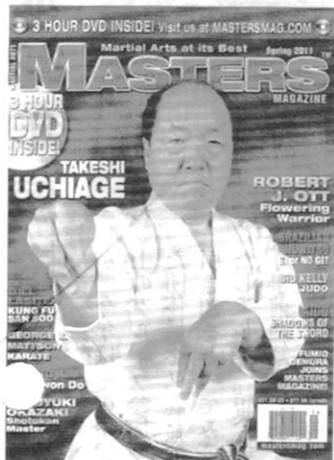
今では25カ国に「打揚会」の支部をもち、年中忙しく世界を飛び回っている。それらの功績が認められ、昨年6月にはアナハイム・ヒルトンホテルでカナダ在住武道家として初めて「武道功労賞金賞」受賞の栄誉に輝いた。  
今回、打揚 猛氏に空手との出会いについて白水会報に一筆投稿をお願いした。

## 「私と空手との出会い」

M41 打揚 猛

母の経営する薬局の隣に父・憲造が空手道場を建てる。指導料はある時払いの督促なし。今、思えば男のロマン。古き良き時代でした。私は幼稚園時代に短期間かじり、本格的な空手修行は天理大学体

育学部に入学校。同大学は宗教系でありながら信仰自由、バンカラな校風、自由に伸び伸び4年間を過ごしました。50校以上が所属する関西学生連盟には第1回全国大会優勝校・立命、他に全国大会制覇



の関大、近畿大などの強豪が目白押し。その中で1年入学から卒業・同大学コーチ時代を含め、カナダへ来るまでの6年間連続決勝進出、うち3回優勝、西日本2連覇、3位1回の成績を残すことができました。

学生時代の思い出は日本武道館での東西対抗(各10名)に出場し、東軍に勝利したこと。同級生部員は入学当初40名を超えていましたが、地獄の夏合宿以後、櫛の歯が抜けるごとく退部者が出て、同級生で4年間続いたのはわずか6名。しかし、絶えず総部員は50名以上、2回生10月の全日本学生からメンバーに選ばれました。

卒業後はパリでの第2回世界選手権に日本代表選考会に、近畿地方代表として参加するも延長戦で敗れました。今と違い当時は体重別がなく無差別のみ、またマウスガード、ハンドプロテクター、シンパッド等の安全防具の使用もなし。

1973年5月、和歌山市長の親展を携え、姉妹都市(同年7月締結)カナダ・ブリティッシュコロンビア州リッチモンド市へ親善使節第1号として来加。バンクーバー空港には初対面の姉妹都市協会副会長・ジム小島氏(前国際柔

道連盟審判長)の出迎えを受け、そのまま小島氏宅に6カ月下宿。昼間はバンクーバー市立大学で英語の勉強、夜は指導、2年間で日本に帰国し教諭になる計画が気づけばこの5月でカナダ在住38年になります。

指導するステイブストン武道館は日本以外に類を見ない立派な建物で、他に歴史ある柔道、剣道クラブがあります。空手クラブは私がゼロからのスタート。余談ですが柔道創始者、喜納治五郎師範はカイロでのI.O.C総会後に、バンクーバー訪問、その際に旧柔道場に立ち寄り、横浜港着の2日前に氷川丸船内で客死。絶筆となった大きな揮毫が掲げられています。

柔道は東海大関係者が毎年来て指導されています。長年全日本代表チーム監督を務めた佐藤宣彦氏、山下泰裕氏ほか多数のオリンピック金メダル選手が来ています。このステイブストン武道館の前で撮った写真は、私がカナダに来て間もない時期に白水会報に写真として掲載していただきました。

メリカン技術委員、カナダ空手道連盟第一副会長(2期4年)を歴任、国際大会にカナダチーム団長として7度参加。全空連7段、剛柔流8段。

2003年、姉妹都市30周年式典で両市長、姉妹都市委員長から唯一表彰を受けました。

おわりに我が家と空手道との出会いにも触れたいと思います。父・憲造(日本武道功労賞受賞)が立命館大時代に空手を始める。同大学師範は剛柔流開祖・宮城長順師範。家内は元全日本ナショナルメンバー(当時は女子二人)で国際大会メダリスト。長男は世界、パンアメリカン優勝(40数カ国加盟)で活躍中。カナダ選手権優勝15回。長女も昨年のナショナル優勝、次女は長女に準決勝で敗れたものの3位、姉妹ともパンアメリカン大会金メダリスト、長女はカナダ選手権優勝7回、次女は優勝6回、二男は小学校時代日本の全国大会記録会に於いて小学生部門で優勝、今は他のスポーツで活躍中です。

私と空手との出会いは以上のようなことです。都合がつけば大阪白水会の総会にも参加したいと思っています。その際は白水会の皆様、よろしく申し上げます。

# この人登場 ②



A 45 豊島良次

白水会の皆様こんにちは。会報係から「この人登場」と言うテーマで寄稿をたのまれました。なぜ私にきたのかいまだに不思議ですがこれも何かの縁だと思いつかせていただきました。私は今「チャーリーブラウン」と言う小さなイタリ안의店をオーナーとしてエフで頑張っています。もう今年で34年になります。その34年間私の頭中から「吹奏楽」と言う言葉が一時もはなれた事はありません。中学から吹奏楽を始めて早48年私の担当は「ユーフォニアム」と言う楽器で現在までずっとこの楽器を吹いています。その間ず



すがその日は吹奏楽の練習、指導の予定が入っていて私のOFFがないのが悩みかなあつて思っています。今まで吹奏楽を続けてこれたのも周りの皆様、諸先輩方のご指導のたまものと思いつけています。今後は私の持っているノーハウを現役を含め若いOB・OG達に伝えていきたいと思っています。最後に吹奏楽「バンザイ」そして「ありがとう！」

らしい先生方に音楽全般とくに吹奏楽の練習方法、指揮法等色々教えていただきました。そのお陰で泉江吹奏楽部をはじめ某商業高校その他OB・OGバンドの指導と毎日充実した日々を送っています。店は日曜日が定休なので

## 夢追い続け S 48 木村 千鶴 (旧姓 中山)

劇団ひいふうみい代表、枚方演劇連絡会副会長、俳優(主婦役者)、演出家、独り語り、芝居、ナレーション等を京都府八幡市、大阪府枚方市を拠点に各処で依頼を受け活動中。

- 〔演目〕
- 「やおやお七」(人形語り芝居)
  - 「女郎花物語」(八幡市民話)
  - 「つう」(高瀬舟「十三夜」他文芸作品)
  - 「花咲山」(よだかの星)宮澤賢治、金子みすず(詩朗読)
  - 「はたるの墓」(父と暮せば) (人権平和語り)

泉尾工業高校を卒業してはや38年、思えば高校での三年間が現在の私に大きな影響を及ぼしている。入学当時の私は、これは大変だ!! 分かっていたが何処を見ても、男子生徒ばかり、学校選択を誤ったかと……。しかし事態は少しずつ変わっていった。白い実習服での実習、体育祭での応援合戦、日々の部活、私の周りの仲間は、思う存分青春を謳歌していた。元来、緊張しいで、恥ずかしがり屋の私は友人の誘いでワンゲル部、後に硬式テニス部へマネージャーとして入部したのだが、くる日もくる日も、球拾い、基礎練、突然の試合出場、初めて経験する運動部だった。



しか)の経験が卒業後、倉紡技研 守口市役所に勤めた私に、テニス大会で優勝する程の力を与えてくれた。高校最後の私へのご褒美は、卒業式で、卒業生代表として答辞を読むという大役。勇気を振り絞っての卒業式。この時の感動が、中学時代の演劇顧問の「演劇続行ろよ」の一言、NHK在職の元泉工の校長先生から「一隅を照らす」という言葉を頂き、後の劇団師子座への入団へとつながった。遅咲きの私は、一旦退団し、仕事・主婦業のかたわら、子供の成長と共に演劇活動を再開、現在も両親の介護のかたわら活動中。泉尾工業高校の皆様さん。思う存分学生生活を謳歌して下さい。機会があれば、森岡外の「高瀬舟」を聞かせたい。

成年後見・相続・遺言から内容証明・不服申立書 等  
官公署への書類作成をサポート

大阪府行政書士会会員・行政書士

M41年卒・**山野 彰** にご相談ください。

事務所 TEL **072-365-6070** 携帯 **090-5673-6725**

**Get**  
FURNITURE COURSE

ファニチャーアウトレット **ゲ ッ ト**  
株式会社オノ工家具 アウトレット事業部

<http://www.kaguget.com>

Get大阪 〒550-0015 大阪市西区南堀江3-3-8  
TEL 06-6543-4141 FAX 06-6531-4109

Get神戸 TEL078-351-4147 Get真面 TEL0727-22-3224

昭和34年工業化学科卒 理事長 **尾上 一雄**

# 先生お元気ですか

中坪 籌満



昭和三十九年四月から二十年間勤務させて頂きました。多くの教職員、卒業生と出会い、沢山の思い出がございます。

その後都島工高に転勤し、平成十五年三月定年退職、早稲田で九年目に入りました。退職後は、都二工高、生野工高で期限付講師を、その後いきいき活動(小学校の放課後の嘱託指導員として合わせて五年間フルタイム勤務をしました。その後は、東淀工高、都二工高等で主に実習の時間講師をしています。お陰様で今も、生徒達からパワーを貰って、元気に楽しくやっています。

張っています。シーズン中の日曜日の殆どは、橿原市運動公園のソフトボール専用球場に午前九時～午後五時の間、詰めています。橿原市のソフトボール大会の試合の審判をはじめ、試合前後のライン引き、試合がスムーズに運ぶためのアドバイス、若手の審判員の育成などを行っています。また、シニア(六十歳以上)チームの一員として、選手としても現役でやっています。奈良県内で年間七の大会があり、その試合は殆どが土曜日に行われます。奈良県内には、十二チーム程ありますが、同じような年齢の選手が多いので、私も頑張らねばと思っています。そのため、毎晩の入浴前に百回程のバットの素振りや(の運動を二十

# しんない どんない

## 元気な七十路の同窓会 (D32)

寒かった冬からやつと抜け出したこの春、新装なったJR大阪駅前の近代ビルにある、静かな和室のたたずまいを会場に54年前の卒業生15名が集う。前回は、恩師(故水田先生)

がお元気で参加されて、米寿を迎えての短歌を披露して頂きましたが。昨春秋に急逝されて少し寂しい開催になった。冒頭に、恩師のご冥福と東日本大震災の犠牲者に、哀悼の意を捧げ全員黙祷。

分程しています。お陰で、頭髪は年齢相応ですが体力は、まだまだ有ると思っています。このような生活を後二年程は続け、その後は、長年の夢であります「車で全国の有名な温泉を巡る」を実現したいと思っています。が……。

幹事が開会挨拶、その中で戦後昭和史を克明に語り、我々が卒業した昭和32年には南極昭和基地開設、大阪に「主婦の店タイエー」開店等など、庶民の明るい話題に出席者もうなずきながら同時に思いをはせる。

今、この原稿を書いている最中も、テレビでは東日本大震災の被災地の様子や余震の報道がなされています。不幸にしてご逝去されました方々には、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災されました皆様には、衷心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早く復興されますことを心より祈念いたします。(昭和39～平1年 電気科(在職)

恒例により六辻氏の音頭で乾杯、宴会がスタート旨い料理に舌つづみを打ちながら皆が近況を報告する。いままも現役で頑張っているもの、趣味で作った自慢の作品を披露する器用な人、当時の悪がき時代を淡々と語るもの、世間の役にたつ人生を送りたいと、ボランティアに精出すもの。また幾多の病を乗り越えながら「気に出席してくれた

ひとなど。

母校の教師だった六辻丈夫氏より、定年まで同窓生に大変お世話になったと、感謝の言葉を述べられて一同が微力ながらも、母校のお役に立てたのかと改めて認識した。

最後に、七十路を過ぎても元気な声で校歌斉唱「栄えある伝統 溢るる生気……」で納会。この同窓会が、何時までも消えることなく続くようにと願う、また元気で会おうと互いに約束して別れた。

次回の同窓会には、健在な26名全員が顔を揃えて集いたいと思っているのは、私だけではないだろう。

(本間 靖・記)



# 50周年同窓会 (A)



有志提起の同窓会も平成22年11月14日で第六回目を迎えた。卒業50周年記念ということで、体調の悪いI君も奥様同伴で初参加され、50年振りの再会を祝した。

幹事長挨拶と乾杯の後、初参加や久振りの参加者もあるので自己紹介・近況報告から始まった。話の長い人短い人、夫々の報告の中で社長業も含め自営やフルタイム勤務の元気な人、パート勤務の人、株をやっている人もいたが多数派は「年金生活人」。

町内会やボランティア活動、趣味も多岐に渡り「多士済々」といったところだが、M君の独言「病気の話が多いな」の通り、腰痛等の持病の話や

手術をした・予定あり、闘病中という話もあり我々の年代は「多士大変」という面も合わせ持っている。

続いて、今回残念ながら出席できなかった仲間からのメッセージ（近況報告や欠席理由等）紹介で彼らの安否を確認。流れは歓談放題、飲み放題、歌い放題へ

「わいわい♪ガヤガヤ♪」そして、瞬く間に時は過ぎた。任期二年の次期幹事も決まり、最後は全員で「高校三年生」を歌い続いて元応援団員の指揮のもと工業化学科の応援歌、

「我等が足の踏むところ泉は湧けり」から始まる（蒼き団扇）と、「六甲おろし荒ぶ日も炎熱大地を焼く時も」の二曲を謳歌し、「ブレイブリー工业化!!」で締めくくり、来年の再会を期して霜月の浪速の街へ散会した。

後記・A36会は、卒業90名の内、鬼籍の方7人（黙祷）、連絡のとれない方20人、諸事由から入会を希望されない方を除いた50名余で構成されています。（加藤 高敏 記）

# D 4. 同窓会

色染工業科の昭和42年卒業生が5月14日、12年ぶりとなる同窓会を難波で開催。当日は、担任の六辻丈夫先生をはじめ17人が元気に集い合い、大いに旧交を温めることができた。関西各府県の他、遠くは、三重県や広島県三原市から駆けつけた友も。

メンバーの中には、卒業して以来、初めて再会する友もいて、「顔認証」に四苦八苦。すでに頭髪が退化し、お腹が突き出ている男性の姿などもあり、さすがに44年の歳月は大きいと、のっけから実感させられた。

とはいえ、顔が判明してからは、一気にボルテージが上がり「うわあ、○○君か！分かんないわ」。「ほんま懐かしいな！」と、高校時代さながらの対話が弾み、あっという間に2時間が経過してしまっただ。

そろそろお開きという時に突然のサブプライズが。六辻先生が何やら鞆の中をゴソゴソし始め、取り出したのは、参加者一人一人の名前が書かれた人数分の茶封筒。それを、さながら「答案用紙」

のように一人ずつ手渡しで頂き、中を開けてみて皆がビックリ。何と、高校時代に書いた、というか書かされた「原稿用紙」ではないか。

当時、六辻先生からの課題で「色染工業科を受験した理由を述べよ」「自らの生い立ちを紹介」「将来の夢・希望について」など、高校3年間の中で、折々にテーマを与えられ作文を書いたことがあり、40数年経って、それぞれの手元に返していただいたという訳である。

今は赤茶けた原稿用紙に、幼さが残る筆跡。恥ずかしいような稚拙な文章……。その原稿の所々に、先生が印したと思われる傍線の跡が見取れる。生徒一人一人の個性や特質を理解し、大きく成長させようとした先生の思いが原稿からにじみ出ている。

全員、感動。全員、感謝。「やっぱり恩師というものは、ありがたいね」との感想が幾重にも広がった。

六辻先生にお伺いしたところ、当初から「いつか佳き日に返してあげたい」と考えてのことで、教え子たちが還暦

を過ぎた絶妙のタイミングでの「答案用紙の返却」となった。

当然のことながら、この答案用紙には、正解はない。が、それぞれの来し方を振り返り、これからの「第3の人生」を目の前にして、あらためて自らの原点を再認識する絶好の機会を与えていただいた。

「D42」——恩師と仲間たち！に万歳！（松宮 政幸 記）



### 第六代校長故長野忠雄先生に捧げる哀悼の辞

松澤 義平



早春、樹々のこずえを吹きわたる冷い風の音にも「春、遠からじ」を思わせる平成二十三年二月二十七日、かねて病氣療養中の長野忠雄先生、ご逝去の報に接しました。

高潔な人格者、教育者、特に工業教育に深い識見をお持ちの先生が、高校教育の全般に果たされた役割は、実に偉大なものがありました。先生の工業教育に対する情熱は、泉尾工業のみならず教育に携わる多くの人達に受け継がれることでしょう。謹んで、先生のご冥福を心からお祈り申しあげます。

先生は、戦中、昭和十八年、大阪陸軍造兵廠の機械技能者養成所教官として、活躍され昭和二十一年より大阪市立都島工業専門学校の講師、同二十三年には文部教官、教授を経て、学制改革により退職、同二十六年、大阪市立工芸高等学校を経て、同三十七年に、生野工業高校教頭として赴任

するや、戦時中の急造され老朽化した実習棟、そして商店街、隣接する狭小すぎる運動場という教育条件の解決に校長と共に懸命の努力をされ、

先ず、校地拡張が行政と地域住民の方々の協力を得て実現した。然しその後、機械科の最新の実習実験室が未明の不慮の火災で実習実験設備の全焼という不運に直面するというこの厳しい事態の打開に向け、教職員を挙げて対応策にあたるべく校内の要として、全教職員の意志の統一をはかり、再建への道すじをつけ、全校一丸となって前進を始めた。持ち前の「ねばり」と「リーダーシップ」で長野先生だからこそその思いを新らたにするのであります。

先生の最後の赴任校は大阪市立泉尾工業高校（昭和四十一年、昭和四十八年）であります。長野新校長赴任の当時、大

学紛争の問題が社会現象として取りあげられ、その余波が高校にも波及し世間にも、問題を投げかけていました。本校の生徒会活動の永年、主要目標であり、（会議で何回か

問題となっていました。昭和四十二年十二月の職員会議において、「生徒の学校生活に新風を吹き込んで学校の活性化を追求することは時代の要請。生徒会が中心になって、各学級で充分の討議したうえの意見を生徒議会にあげて議会でまとめる」という規律ある行動が要件」との共通理解を決定したのであります。このことは、生徒会役員に連絡して直ちに生徒会に連絡し、その後、HRで待機していた生徒全員に説明したのであります。

まさに高潔な人格者である教育者であったいまは亡き長野先生の真摯な教育に思いが通じたと思いました。

昭和六十三年三月二十五日付のサンケイ新聞（夕）に連載記事「我が青春の恩師」に少しですが掲載されています。あとになりましたが、ご遺族の方々には長期にわたる献身的なご介護に本当に深く敬意の念を捧げる次第でございます。お見舞いのたび先生は何時も楽しそうにご家族の話をお体にお話されておりました。お元気で過ごし下さるよう祈っています。（記 第九代校長）

一昨年に引き続き、昨年10/30（土）に難波の「黄金の鱗」でC60年卒同窓会を行った所、担任の榎本先生に浦君、照島君、河野（高野）君、初回から参加の石川君、小田君、長谷川の前回より2名多い7名でした。

### クラス会だより (C60)

トピックス

みな、不景気の中それぞれ頑張っている様子を聞き、泉工悪ガキ時代の話を花を咲かせ、特に悪ガキだった小田君が今回の世話役をして下さり、その成長ぶりには皆ビックリしました。

今年も副担任の福本先生を御呼びして秋に、行いたいと思っておりますので、皆さんの参加を是非、お待ちしております。連絡先

minmin366@yahoo.co.jp

今年八十八才を迎え卒業後一貫して稲畑産業株式会社。途中の軍隊経験中支九江での戦斗体験広島宇品船舶司令部勤務時の被爆体験等々を過し復員後の混乱期の突破を会社の存続をかけたの幾年等今更乍ら懐かしく回顧する昨今ですが、御陰で定年退職後の金剛山登山千五百回達成により至極健康の昨今旅行と趣味の囲碁で日常を過して居ります。



### 近況報告

白水会報楽しく拝見しました。

今年八十八才を迎え卒業後一貫して稲畑産業株式会社。途中の軍隊経験中支九江での戦斗体験広島宇品船舶司令部勤務時の被爆体験等々を過し復員後の混乱期の突破を会社の存続をかけたの幾年等今更乍ら懐かしく回顧する昨今ですが、御陰で定年退職後の金剛山登山千五百回達成により至極健康の昨今旅行と趣味の囲碁で日常を過して居ります。

平成22年8月29日  
D14 内田 信一

### 河合禎登先生を偲ぶ

元電気科教諭 中島 武郎

思い起こせば私をはじめ先生とお会いしたのは、今から丁度五十一年前（昭和三十五年）の四月、場所は大阪市立生野工業高等学校でした。若かった私達は共に電気科で勤務をしました。

当時の先生は短髪の元気凛刺とした好青年で、実に熱心に電機工作や電気工事技術等の指導をなさっておられた様子が今も目に浮かびます。

またスポーツの面では卓球が上手で学生時代には選手としても随分と活躍されたこと聞きおよんで居ります。

さらに「書」もまた能くされ、特に勘定流のすばらしい文字を良く見せていただきました。

生野工業高校で勤務の後は大阪市立泉尾第二工業高等学校を経て、昭和五十四年四月から平成十一年三月まで泉尾工業高等学校電気科で教鞭を執られ、教科指導、学級担任はもちろんのこと、生徒指導の面でもたいへん尽力されました。

厳しき中にもやさしい側面を併せもった先生の指導をう

けた生徒達、分そこにいわゆる「親爺さん」を感じていたのではなからうかと思いません。

退職後は地域社会においても、みなさんとともにいろいろ活躍なさっておられたことですが、惜しくも去る三月十九日の夜突然の病気のため急逝されました。

こうして親しかった人達が去って行かれることは本当に淋しいことですが、大人の童話「葉っぱのフレディ」に出てくる葉っぱのようにして散って行くことが此の世に生を享けたものとして必定のことなれば、悲しいけれども受けとめざるを得ないことであらうかと思えます。

さよりなら河合先生、ゆつくりとおやすみください。

### 水田賢先生を偲ぶ

(享年八十八才)

色染科32年卒 高野 光利

今回は、一年半振りの同窓会だった。今日は、何か違うと感じつつ、会場に入った。席は幹事方が、くじ引きを用意され、座った場所は、偶然にも前回、恩師がつかれたテーブルだった。すぐに、先生

の笑顔が浮んできた。皆んなからも同じ声が聞えてきた。在学時、一、二年生は本館で、三年生は、色染科に必要な、実習室等のある別館で授業を受けた。私は、こちらに移りやると、色染科の学生になった気がした。先生は当時、色染科のトップだったが、担任と分析教科を受け持たれた。やがて、就職の時期に入り、先生は、精力的に動いておられた。私も二、三就職試験を受けたが、不採用を味った。先生は会社に、出向き、理由を聞きだし、理由を説明して呉れた。それを聞いて納得できた。これは、就職活動に、力を注がれた、ほんの一端であります。先生は、泉尾工高、教育委員会、民間会社と歩ま

れた。人には、各々な役目が、ありますが、先生は立派な人だったと、私は誇りに思った。私は学生時より後に、先生の偉大さを知らされた。最後になりませんが、私が停年退職時に頂いた言葉があります。これからは自分自身の人生となります。どうか有意義に過ぎて下さい。第一の条件は健康であります。これを思いだすたびに、先生はこれを実践されたんだなあと、思いました。私も少しでも、それに、近づきたく、努力している最中であります。

色々と、ありがとうございます。

## 事務局から

◇ 先日ある卒業生の方より「私達の学年は何期生になるのか」と言う質問をいただき、一瞬とまどった。泉尾工高では、卒業学年を表すには「S32卒」とか「D平4卒」というように「卒業科・卒業年」で表し、年は昭和を主とし、平成を副次的に扱ってきた。平成も23年を数え、卒業生も平成卒が多数派になると、従来通りでよいのかと悩んでくる。それより新学制による第1回目の卒業生が卒業した昭和26年を第一期生として、順次一期ずつ加えていくという方法もある。この問いかけの返事は、学校側からしていただくのが本筋か？皆様のご意見は？

### 訃報

- 平成22年11月1日 水田 賢先生 (色染工業科、昭和27年37年ご在職) 89才
  - 平成23年2月24日 長野 忠雄先生 (第六代校長、昭和41年48年ご在職) 92才
  - 平成23年3月19日 河合 禎登先生 (電気科、昭和54年11年ご在職) 72才
  - 平成22年11月1日 北嶋 豊氏 (大阪白水会第十三代会長、昭和20年色染科卒業) 84才
- 御四名の先生方・卒業生の訃報に接しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

# 会員だより

母校によせられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

S 17 吉田 保  
1人で住んで8年が過ぎました。でも学生時代・戦争等思い出します。参加します。

S 17 沖 由文  
元気に暮らしています。

S 29 坂田 文雄  
いつも、会報を楽しみしております。有り難うございます。

S 35 小浦 洋治  
今年69歳になりました。後何年山歩きが出来るか？7月に霧ヶ峰と美ヶ原に行きました。未だ雪があり素晴らしかったです。

S 44 和智 美佐子  
引越して届かぬ便りが再び届きました。悲しい別れの背景に新たな出会いが生まれるそんな思いを感えました。

S 45 岸本 康子  
早いもので、卒業して40年、自分の体の事が気になるこの頃です。

S 49 檜垣 美智子  
母校は、まるで家族のような大切な関係です。ずっと繋がっている事を嬉しく思います。

D 9 安田 郁雄  
相変わらず、O.B昼食会は毎月続けています。

D 29 玉村 弘  
脳卒中の後遺症の為に、歩行不能です。リハビリ通院をしております。

D 33 小林 永典  
おかげ様で元気に暮らしています。

D 44 宮本 登喜子  
いつもお世話になって有り難うございます。昨年5、6人同窓生と会い楽しかったです。

D 45 田中 順子  
孫育児から解放されず、自分の時間がほしいです。H 23年には、大台に成ります。私は今、バス旅行にはまっています。

D 63 宮本 美幸  
シンガポールに住む事になりました。3年5年は帰って来ないの皆さんお元気で!!

C 3 佐坂 光春  
白水会の皆様にはいつもお世話頂き又、多くの方々のご援助を頂き、今日まで長生きさせて頂き有り難うございます。

C 17 広居 英武  
同窓の藪本君の逝去、ご冥福を祈る。同じく、同窓の古武君・中村君のご自愛を祈る。会費・寄付 一覽の人数の

少なさを嘆く。生きていながら連絡下さい。太田君・高下君

C 34 堀 信夫  
秋の陶芸展の作品製作中、元気でです。

C 34 岡安 喜博  
この春、長男の結婚・孫(長女)の入学、又、私の眼の手術等々嬉しく・苦しく・忙しい半年でした。

C 34 徳田 耕一  
昨年、恩師藪本先生の訃報に謹んでお悔やみ申し上げます。

C 34 中島 真  
元気で毎日スポーツクラブで動いております。

C 40 西田 繁雄  
母校の発展をお祈りします。

C 41 中居 徳夫  
定年退職後、再就職し3年目です。元気に頑張っています。母校の発展をお祈り致します。

C 17 横峯 直美  
頑張りながら、仕事しています。

A 20 西村 半兵  
これといった病気もせず元気でいます。  
A 27 吉田 時雄  
老化による体力・智力の衰えを少しでも遅らせようと努力しております。効果は？  
A 32 上田 賢司  
お陰様で今のところ元気に

致しています。健康のための水泳・囲碁に熱中しています。

A 32 田中 良和  
健康で元気な間は僅かですが、会費を送り続けたいと思います。感謝!

A 32 今井 弘  
今でも全力疾走出来るモノがあり幸せです。テニス・ダンスはやっと競技選手として試合に参加しています。

A 34 伊藤 寛文  
卒業して52年余り、今年の秋には「古希」、時々A 34の同窓会に出ています。母校の発展と同窓の皆様活躍を祈っています。

A 37 撫坂 博史  
大阪市の理科支援員等をしてながら過ごしています。

A 39 南野 芳男  
泉工の皆様お元気ですか。縁あって昨年10月文楽「心中天の網鳥」の地、閃電、南海などを興した藤田男爵邸「現太閤園」見聞する機会を得ました。その中で聞いた「巨耳細口」が印象的でした。

A 40 生駒 弘之  
悠々自適の生活を目指しています。

A 40 西尾 憲一  
4月より新しい職場で働いています。  
A 41 山本 喜久雄  
2008年に定年後、四国八十八カ所を3年かけてお参りし、今年満願を迎えました。

第二の人生、色々な事にチャレンジしています。

A 58 野口 宣子  
初めて、総会に参加しました。年代の違う方々と話ができ楽しかったです。私自身、子供達の手が放れ、また総会に出席したいと思っています。

A 58 野口 宣子  
会報で、佐々木・濱中・和歌崎先生のお名前を読んで懐かしく思いました。

A 63 大橋 一弘  
常磐薬品工業(株)勤続20年になり、広島から札幌へ移動になりました。北海道にお越しの際は一報下さい。

M 34 西尾 壽一  
今年4月より、地元の自治会長を受け頑張っています。

M 52 山原 彰  
卒業時に貰った白水会のバジルの購入は出来ますか。  
E 41 田中 啓治  
H 22年3月で退職となり顧問で引き続き会社勤務で頑張っています。

E 46 佐喜真 正行  
有機栽培を始めて、5年目に入ります。

E 48 平井 精一  
総会の出席者の名前を会報に載せて下さい。同級生が出席していないので、面白くない。中田、川上何とかして!あと5年で定年やで!



